

JAPANESE (CONTINUERS) EXAMINATION 2022

Listening Passages

Section 1: Listening and Responding

Text 1

みか: トムくん、どうしたの?

トム: あ、みかちゃん。朝からずっと図書館が閉まっているんだ。借りたい本があるのに。

みか: ああ、図書館の先生ね、いま病気で休んでいるんだよ。でも来週には帰ってくるそうだよ。

トム: そうか。でも、週末のしゅくだいのためにひつような本なんだ。どうしよう。

みか: 何という本?

トム: 本の名前? 『日本の伝統美術』。美術のしゅくだいが月よう日までだから、週末にしなければならぬのに。

みか: その本だったら、うちにあるよ。

トム: えっ!?

みか: 私、きょ年、美術のクラスをとっていたから。貸してあげようか。

トム: ほんとう? 貸してくれるの? ありがとう。

みか: うん。今からうちに帰るけど、じゃ、いっしょに来る?

トム: みかちゃんのうち? うん、行く。あ、でも今日部活だ...

みか: ああ、そうか。じゃ部活が終わってから、うちにとりに来る?

トム: うーん、でも夜おそくなるし...。いや今日は部活を休むことにするよ。

みか: そう。あ、それだったら、近所のカフェにつれて行ってあげようか。今「日本の美術100年」というイベントをやっているんだ。しゅくだいのやくにたつと思うよ。

トム: すごい。ぜったい行く。ありがとう、みかちゃん。

みか: どういたしまして。

<1:20 minutes>

Text 2

男: みなさん、おはようございます。「ラジオ・ニッポン」、ヨッシーです。今日は、みどり島から「桜まつり」をしようかします。まつりのオーガナイザーの田中よう子さんに、色々聞いてみたいと思います。田中さん、よろしくおねがいます。

女: こんにちは、ヨッシーさん。よろしくおねがいます。

男: はい、では、まず、「桜まつり」について教えてください。

女: 「桜まつり」は、この島の神さまのおまつりです。みどり島の神社には、古くて、りっぱな桜の木があるんです。

男: へえ。

女: その木は島の神さまなので、島の人々にとって大切なんです。その花がさくときに「桜まつり」をします。もう600年つづいているおまつりです。

男: 600年!じゃ、とくべつなおまつりなんですね。お花見は毎年ぎやかでしょうね。

女: いえ、じつは、この「桜まつり」には、これまで、みどり島に住んでいる人しかさんかできませんでした。

男: あ、そうなんですか。

女: でも、ここはとても小さい島ですから、最近^{さいきん}は人が少なくなってしまって…。それで、この大切なまつりをこれからもつづけていくために、今年からは島に住んでいない人達もまつりにさんかできるようにしたんです。

男: ああ、じゃ、今年からだれでも島の神社でお花見ができますね。

女: そうです。みなさんぜひ来てください。おいしい食べ物の店や、音楽のコンサートもありますよ。

男: 楽しそうですね。

女: ええ。それで、人がたくさん来ていそがしくなるので、ボランティアもさがしています。外国からのおきゃくさんもしょうたいするので、英語か中国語ができる人は、ぜひ「桜まつり」のウェブサイトにメールをください。

男: それはいいですね。じゃ、まつりはいつですか。

女: 三月三十日から、四月十日までです。

男: 三月三十日からですね。それでは、リスナーのみなさん、ぜひ「桜まつり」に行ってください。ぼくも家族といっしょに見に行きたいと思います。じゃ、田中さん、今日はありがとうございました。

女: ありがとうございました。

<2:30 minutes>